

平成29年度 第1回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成29年4月25日(火) 10:00~12:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 9名
- 4 傍聴者 なし
- 5 配布資料 (1) 平成29年4月1日付 人事異動・・・資料1
(2) 小平市公民館運営審議会委員名簿・・・資料2
(3) 小平市教育委員会組織機構図(表)・・・資料3
小平市公民館分掌事務(裏)
(4) 平成28年度 公民館定期講座実施状況・・・資料4
(5) 平成28年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・資料5
(6) 平成29年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告・・・資料6
(7) 平成29年度 公民館関係予算・・・資料7
(8) 平成29年度 小平市立公民館事業計画・・・資料8
(9) 平成29年度 公民館事業企画委員会開催日程表・・・資料9
(10) 平成29年度 講座のための意見交換会日程表・・・資料10
(11) 平成29年度 公民館まつり等日程表・・・資料11
(12) 平成29年度 公民館運営審議会日程表・・・資料12
(13) 小平市教育振興基本計画の平成29年度基本的な方向及び主な取組
・・・資料13
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 公民館定期講座実施状況について
(3) 東京都公民館連絡協議会について
①平成28年度職員部会、委員部会報告
②平成29年度定期総会報告
(4) 平成29年度公民館関係予算について
(5) 平成29年度小平市立公民館事業計画について

- (6) 公民館事業企画委員会等について
 - ①委員会の開催状況
 - ②委員会設置に向けた進捗状況
 - ③なかまちテラス LiNKS 全体会の開催報告
- (7) その他

会議の概要

1 館長報告

- (1) 平成29年4月1日付の人事異動について
資料1について報告した。
- (2) 小平市教育委員会組織機構図、公民館事務分掌について
資料3について説明した。
- (3) 小平市長選挙及び市議会議員補欠選挙の結果について
市長については、小林正則氏が4期目の当選となり、市議会議員については、山崎とも子氏が初当選となった。

2 平成28年度公民館定期講座実施状況について

事務局より資料4について、各館より報告した。

(質疑応答)

- 会 長 中央公民館のタイムリー講座「オリンピック・パラリンピックが待ちどおしい！体育がもっと好きになる講座」は応募が多いが、今後についてはどうか。
- 館 長 平成29年度は、児童・子ども向けの体育に関する講座は予定していない。オリンピック・パラリンピックの関係は語学ボランティアに関すること、スポーツレクリエーションの体験など、補正予算の事業として検討している。
- 委 員 その講座だが、定員20人というのは会場の関係なのか、実技をやる関係で20人なのか。
- 館 長 かけっこ、ボール投げを中心とした内容で実施した。親子での参加を可能としたので、実際には倍以上の人数で実施した。グループ構成や場所などから、講師と調整した結果、定員20人と設定した。

会 長 津田公民館の「囲碁のイロハ講座」だが、受講者の年齢構成は。

分館長 年代は40代から80代までで、男・女偏ることなく応募があった。

委 員 仲町公民館のLiNKS講座で子ども向けの「親子で楽しく習うヘアアレンジ」について、この講座の目的と、どんな様子だったのか教えてほしい。

分館長 LiNKS講座はその目的として、なかまちテラスという市民協働の場であることから、LiNKSのメンバーから出た企画を事業化している。目的としては、できるだけ公民館、なかまちテラスに来たことのない子ども達が来館するきっかけづくりとして、夏休みと春休みに毎年実施している。1年目は、子ども向けの講座を夏と春に実施したが、委員から大人向けの企画の提案があり、今年度は夏と春に大人向けの講座も実施した。実施状況としては、前年度に引き続き地域美容師の方にお願ひし、親子で鏡を見ながら、普段はできない三つ編みなどができて大変好評だった。

委 員 「ヘアアレンジ」という講座があまり見たことがないので聞いたかったのだが、これをきっかけに親子の会話を広げるとか、そういう狙いがあるのか。

分館長 結果として、親子のふれあい、会話もかなり弾んでいた様子だった。娘さんがお母さんの髪を編んであげたり、お互いに編み合って「上手にできたね」とのやりとりが受講者から見てとれた。

委 員 親子での、ちょっとしたふれあいや会話が弾むなど、親子関係を築く取組でおもしろいと思う。公民館で意義のあるきっかけを作れたのではないかな。

委 員 子どもの対象年齢は。

分館長 今回は4年生以上で、実際4・5・6年生で兄弟姉妹を連れてきた保護者もいた。

3 東京都公民館連絡協議会について

(1) 平成28年度職員部会、委員部会の報告について
事務局、委員より資料5・6について説明した。

(2) 平成29年度定期総会の報告について
会長より、平成29年度の関東甲信越静研究大会は群馬県前橋市で開催される。平成29

年度の担当について、職員部会は小山分館長、委員部会は高橋委員が就任した。

4. 平成29年度公民館関係予算について

事務局より、資料7について説明した。

(質疑応答)

委員 視聴覚教育の予算の具体的な中身はプロジェクターの購入か。

事務局 その通りで、今年度の予算は、3台分を要求したが1台分が予算化された。

5. 平成29年度小平市立公民館事業計画について

事務局より、資料8について説明した。

6. 公民館事業企画委員会等について

資料9を参照

(1) 委員会の開催状況

各分館（鈴木・小川・津田・大沼・上水南）から報告した。

(2) 委員会設置に向けた進捗状況

各館（中央・仲町・上宿・花小金井南・花小金井北・小川西町）から報告した。

(3) なかまちテラス LiNKS 全体会の開催報告

なかまちテラスまつりを中心に議題が進められた。次回は6月6日（火）10時に開催する。

(質疑応答)

委員 東京都公民館連絡協議会の委員部会で、なかまちテラスの見学が5月に予定されているので、よろしく願いしたい。

委員 公民館によって事業企画委員会が5回から10回までであるが、事業企画委員会の開催期間や回数は決まっていないのか。

館長 事業企画委員会の大きな目的は、翌年度実施する講座の企画である。予算要求の都合

で、講座の企画は10月末までに終了するが、その後、委員同士の交流を深めたり、次の年度に向けての情報交換の場をつくるなど、継続的に開催していく館もあり、特に期間や回数は決まっていない。

委員 委員として、全てに出席できるわけではないので、ここに出席すれば流れが分かるのか、ここには出席して欲しいというポイントがあれば教えてもらいたい。それが分かれば、時間を取って多くの館に行ける。

館長 館によって、メンバーの構成も違うので、進行状況や進行方法が違う。「ここは」と言うのは難しいが、全館において5～6月にかけて「講座のための意見交換会」を実施する。そこで広く出された意見を事業企画委員会に報告し、反映できるものがあるのか、市民のニーズをどう盛り込んだらいいのかを6～7月で検討するので、その辺りから、講座の企画に関して、具体的な委員の意見が出てくるのではないかと。

会長 分館によって構成メンバーも違うので、6～7月にできるだけ足を運んで、まずは行くことから始めてほしいと思う。

委員 事業企画委員会について、日程表にない公民館についてはどのような状況か。

館長 開催日が決まっている館のみ一覧にしている。仲町公民館と上宿公民館については、5月中に開催する予定である。小川西町公民館と花小金井北公民館については、メンバー構成を調整中なので、平成31年度実施講座の企画に合わせて事業企画委員会を設置する可能性がある。

7. その他

意見交換会について

事務局より資料9および10について説明した

公民館まつりについて

事務局より資料11について報告した。

都合がいたら是非参加してほしい。

公民館運営審議会日程表

資料12を参照

関東甲信越静公民館研究大会は、日帰りで前橋市へ5名分予算がある。

東京都公民館研究大会（狛江市）は、2月初めで、全員分予算がある。

（質疑応答）

委員 研究大会については、職員にもっと参加をしてもらいたいので、旅費の予算を増額できないか。

館長 予算が厳しく、講座やイベント等の事業に係るものを優先としている。

委員 民生委員は10～20人の研修には、市でバスを用意して行っていたが公民館ではそういう使い方はしないのか。

館長 5～6人ではマイクロバスを借りることができないので、前橋市へは電車での移動となるが、狛江市は参加人数に応じて、マイクロバスも検討する。

（その他意見交換）

委員 1年間審議会を運営してきて、いろいろな委員から進め方について意見が出されている。公民館運営審議会委員としての役割をどう果たしていったらいいかという基本的な内容である。1年間は新規の委員も多かったので、公民館とはどのような仕組みで講座を開催しているのか。そしてその講座を実施するためにどのような準備があって、どのような状況で運営され、終了したのかという報告が中心だった。1年目はこれで良かったが、2年目については、大分様子を各委員が把握できたので、今後は残り1年をどう有効的に運営したらいいかという意見が散発的に出されている。定期講座実施状況の報告については、資料に書かれている数字や見れば分かることについては報告を省き、それを点検し、事業をいかに発展させていくのかという議論をしていきたいと思う。そこで、事業の一覧表に見えてこない課題や成果などについての報告や事業に対する考え方に、委員が意見を出し合う場としていきたい。委員同士や事務局と協議できるような時間を多く取るためにどうしたらいいか。そのことについてこの場で審議し、次回からの運営に反映していきたい。

確かに、11館もあるので少しずつの報告でも2時間のうちの大部分が事業報告に取られてしまうが、それをいかに短縮して、もう少し協議すべき時間にどう向けていくか。公民館運営審議会としては工夫の余地があると思う。他の委員も同じようなことを感じているので、少し意見交換を行い、今後へ繋げていきたい。

委員 1年目は、定期講座の実施状況報告が多かった。2年目からは報告より協議を中心とし、課題や問題点などを大いに出して、内容を充実してほしい。

- 委員 定期講座実施状況は事前に送付されているので、成果や課題をポイントに報告を受け、協議するとより深まるのではないかと。
- 委員 地域の人達が公民館について、その役割を認識してどれだけ利用しているかが大事ではないかと思う。その点から、いろいろな事業が地域の市民にどこまで理解し、広がっていくかを検証するのは大事ではないか。
よって、各事業の結果、どのように成果が上がってるのかということを見ていきたい。意見を出し合って、より公民館と交流していきたい。
- 委員 各講座の中身について討議をしようにも、細かい資料がないので難しい。体系的にどのような目的で企画したのか、意図などを聞きたい。企画段階の話を知りたいし、意見を出しやすいと思う。
- 委員 事業企画委員会も各館で始まり、課題が多く出ると思うので、その部分も協議できればと思う。
- 委員 1年間、委員をしてきて、各公民館のおまつりにも足を運んでやっと地域性が分かってきた。今後は定例的な報告だけでなく、課題や現場の雰囲気なども聞きたい。
- 委員 数字だけの報告でなく、問題点や課題や反省点などを報告すべきである。
- 委員 公民館と公民館運営審議会の討議がなかったと感じた。
- 委員 分館同士競い合って、地域づくりの核として分館ごとに違う色があってもいいのではないか。子育て世代中心の館やシニア世代中心の館など、それぞれ特性があってもいいと思う。各分館の友の会や連絡会などから代表で選出された委員もいるが、責任感を持つという意味から、委員も地区担当制にしてもいいと思う。
- 会長 皆さんの意見を平成29年度は、できるだけ活かした会議にしたいと思っている。企画実行委員会が始まり、委員の皆さんにも講座が企画されるプロセスを見てほしいので、企画実行委員会はもちろん、公民館まつりなどにも足を運んで各館の様子を見ていただきたい。

次回は、5月16日（火）午前10時～中央公民館会議室にて開催する。